令和７年度　学校経営方針　大田区立大森第一小学校

おおた教育ビジョン　めざすこども像
「意欲をもって自ら学び、考え、主体的に行動するこども」
「多様性を尊重し、自分や人を大切にして生きるこども」
「地域とつながり、社会の一員として貢献しようとするこども」
「自らの可能性を伸ばし、ともに未来を創り出すこども」

学校教育目標
〇自らよく考え、行動する子
〇思いやりがあり、仲良く助け合う子
〇健康で安全な生活ができる子

学習指導要領が示す３つの資質
〇生きて働く知識・技能
〇未知の状況でも対応できる思考力・判断力・表現力
〇学びを人生や社会に生かそうとする学びに向かう力・人間性

目指す学校像

〇みんなが生き生き、笑顔いっぱいの学校　〇こどもが安心して過ごせる学校　〇教職員が共に学び合い、高め合う学校
〇学校・家庭・地域が連携し、こどもを支え合う学校　〇地域に愛着と誇りをもち、地域に主体的に関わるこどもが育つ学校

◆学力向上（基礎基本の定着と未来を見据えた学習活動の推進）

1　主体的、対話的で深い学びの実現(学ぶ楽しさの実感、学びに向かう力の育成)
・令和７年度大田区独自教科「おおたの未来づくり」では本区教育研究推進校として研究発表会を行う。昨年度の研究をさらに磨き上げ、「地域の創生」「ものづくり」を通して、課題の設定、課題に対する調査結果、考察を見出し、問題点を解決（発信や制作）しようとする態度を養う。
・思考ツールの活用、自ら考える時間の設定により考える力を養う。
・学びの ICT 化で新しい学びの構築を推進(児童の学びを深めるタブレット端末の活用)

2　基礎基本の定着(ワークテスト平均点 80%を目指す)
・算数での習熟度別学習指導(低学年より少人数指導を実施)
・補習教室の充実（放課後補習教室）
・ぐんぐんタイム（始業前 漢字、計算等）
・家庭学習の習慣化
・学校図書館の充実・読書活動の推進

3　各種支援員や講師を活用し、児童の学習を支援
学習指導講師　理科支援員　読書学習司書　体育指導補助員　学校特別支援員　ICT サポーター
・外国語活動を推進し、外国語でのコミュニケーションを図る基礎となる資質・能力を育成（R7 年度は、第 1，2 学年の外国語活動 25 時間）
・体験的な学習や専門家による出張授業を行い、実感が伴った学習を推進
・これからの社会を担う児童のキャリア教育の推進(キャリアパスポート)

4　その他
・夏季休業中での面談の実施
夏休み期間、学習に関する面談を行い、児童の学習の状況、成果と課題、今後の取組などを学校・保護者・児童と話し合う。(1 学期は通知表所見なし)

◆豊かな心を育み、一人一人が安心して過ごせる学校

1　いじめや不登校への未然防止、早期発見、早期解決（校内委員会の充実）
・いじめ防止基本計画の改定　・アンケート調査(年 3 回)や面談の実施
・不登校対策年間計画　・いじめ防止に関する授業(年 3 回)
・全教育活動を通し、自己肯定感、有用感を高める。
・きめ細かい児童理解（年 2 回の学級集団調査 QU 調査、学校生活調査）
・スクールカウンセラーとの全員面談（5 年生）、巡回心理士の活用

2　特別支援教育の充実
・教育相談の充実(サポートルーム、特別支援教室専門員、特別支援コーディネーター、スクールカウンセラー、学校心理士との連携)
・UD（ユニバーサルデザイン）を取り入れた教室環境づくり
・副籍児童との交流

3　道徳・人権教育の充実
・「特別な教科　道徳」を中心とした道徳教育を実施（道徳授業地区公開講座の実施）
・人権教育プログラム、人権教育年間計画等を基に、全教育活動で人権教育を実施

4　より良い人間関係の構築
・自他の個性を尊重し互いに認め励まし合う学習環境作り。言語環境の改善
・情報機器を正しく安全に使用（SNS ルール）
・「学校のきまり」を全教員が共通理解し児童の指導に当たる。

5. 安全と防犯
・セーフティ教室、交通安全教室、自転車教室の実施
・避難訓練の各月実施
・危機管理体制の整備、事故の未然防止
・安全指導、避難訓練(災害対応、集団下校、津波訓練、不審者訓練、引き渡し訓練)、施設設備の点検による校内の安全の確保
・学校給食での「安全な給食」の実施(食物アレルギー対応)

◆体力の向上・健康の増進(自らの健康を維持できる知識や技能を身に付ける)

1　「一校一取組」運動の実施
本校独自の大一スポーツラリー(充実)、ランニングタイム　短縄
2　体力テストの実施(課題のある運動(区平均以下)への取組を工夫)
3　「早寝、早起き、朝ごはん」を通した、基本的生活習慣の確立
4　体育・健康教育授業地区公開講座の実施
5　食育全体計画、年間計画を基に、栄養バランスや食物に関する知識を学ぶ機会を設ける。
6　学校保健委員会の実施
7　大田区小学生駅伝大会への取組

◆特色ある教育活動

1 異学年交流
縦割り班活動、兄弟学年清掃、異学年給食（状況により実施の可否を決定）

2 地域人材や地域素材を生かした大森の歴史、文化、環境を教材化した学習活動の推進（「おおたの未来づくり」での地域創生、ものづくり）
・保幼小の連携(園児の学校行事等への招待)
・近隣施設、ゲストティーチャーを活用した生活科、総合的な学習の計画
・大森の伝統「海苔付け体験」・町工場や大田区の伝統工芸等のものづくり

3 学校・家庭・地域が一体となって共に進める教育
・地域教育連絡協議会の開催（コミュニティスクールに向けた取組）・自己評価報告書の評価・地域と学校との情報共有（学校の課題や生活指導等）
・学期１回の学校公開の実施
・保護者評価や授業アンケートの実施
・学校支援地域本部「スクールサポート大一」と連携し、地域の力を活用した教育活動を展開（夏休みワクワクスクール等）
・学校防災活動拠点として、地域や保護者と協働した防災活動
・学校だより、HP、学級通信等での教育活動の紹介
・地域行事への金管バンドの参加

4 持続可能な社会のための教育（ESD）教育
・持続可能な社会の実現に向け、主体的に関わり、実践する態度の育成
・ユネスコスクールキャンディデートの取組

◆教育環境の向上（研究、研修による教職員の指導力の向上（大田区教育研究推進校、東京都授業改善推進拠点校）

・OJT を推進し自ら専門職としての資質向上
・区内研究推進校の研究発表会への全員参加
・大田区学習効果測定をもとにした「授業改善推進プラン」を作成と実践
・特別支援教室巡回教員との連携
・働き方改革の推進(教育活動の厳選)　・服務の厳正　・公務員としての自覚
・学校事務の適正な執行
・教員のメンタルヘルス管理(相談窓口の紹介、関係機関との連携)

令和 6、7 年度　大田区教育委員会教育研究推進校
授業改善推進拠点校
研究教科：独自教科「おおたの未来づくり」
研究主題：「よりよい未来を実現するための創造的な資質・能力の育成」
研究発表日　令和８年２月 24 日（火）